令和4年6月 加茂市長定例記者会見 R4.6.8(水) 10:00

1. 新型コロナウイルスワクチンの4回目の追加接種について

加茂市では、新型コロナウイルスワクチンの 4 回目の追加接種について、 集団接種の開始を 7 月 16 日土曜日といたしました。

4 回目の追加接種は、3 回目接種から 5 か月以上が経過した方のうち、60 歳以上の方と 18 歳以上 60 歳未満で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方が対象です。

接種日は、7月は9日間、8月は10日間、9月は7日間とし、接種時間は午前9時から11時30分、午後1時30分から4時30分までです。会場は、加茂市産業センターホールで接種費用は無料です。接種券は、60歳以上の方には、6月下旬より接種間隔を踏まえ接種日時指定のものを発送いたします。60歳未満の基礎疾患を有する方は、自己申告により接種券の発送申込みをしていただき、接種券が届きましたら、ご自身のご都合にあわせて、コールセンターへ電話するか、インターネット、市役所健康福祉課の窓口で予約してください。予約の開始については、後日ホームページや広報等でお知らせいたします。

ワクチンは武田モデルナ社のものを使用します。今まで使用したワクチンと異なるワクチンを使用しても安全性や効果があることが報告されていますので、安心して接種していただきますようお願いいたします。

なお、引き続きコールセンターを設置して、平日の午前9時から午後5時 までワクチン接種のお問い合わせに対応しています。

市といたしましては、国・県と連携してしっかりと取り組んでいくととも に、決まったことから随時ホームページや広報等でお知らせします。 2.「市民バス」「のりあいタクシー」の愛称と公共交通のマスコット キャラクターの決定について

加茂市では、加茂市の公共交通をもっと身近に、親しみを持っていただく ため「市民バス」「のりあいタクシー」の愛称と公共交通のマスコットキャラ クターを 4 月 18 日から 5 月 13 日まで募集いたしました。

応募件数は、「市民バス」の愛称は 107 件、「のりあいタクシー」の愛称は 102 件、公共交通のマスコットキャラクターは 92 件でした。多くの方々から 応募いただき、大変ありがとうございました。

応募いただいた中から、愛称、マスコットキャラクターを選定するため 6 月 6 日に加茂市地域公共交通会議を開催し、委員の方々より選定いただきま した。

そこで、採用となったものを発表いたします。

「市民バス」の愛称は「かもんバス」です。

次に、「のりあいタクシー」の愛称は「かもんタクシー」です。

そして、公共交通のマスコットキャラクターは「おでかもちゃん」に決定 いたしました。

「市民バス」「のりあいタクシー」の愛称が採用となった方には、それぞれ 加茂オリジナル推奨品ギフトおよび加茂市商店街協同組合の商品券 1 万円相 当分、マスコットキャラクターが採用となった方には、加茂オリジナル推奨 品ギフトおよび加茂市商店街協同組合の商品券 3 万円分をプレゼントいたします。

採用された作品については、車両のラッピングや加茂市の公共交通に関する広告物などに使用させていただきます。

3. 出水期を迎えるにあたってのお願い

これから梅雨時期を迎え、水害を心配する季節となりました。

市民の皆さまには、配布してある洪水ハザードマップと土砂災害ハザードマップをご覧いただくなど、豪雨時の災害リスクと避難について再度確認をお願いいたします。

避難にあたっては、①早めの避難が重要であること、②ハザードマップで自宅の2階以上が安全だと確認できれば、自宅の2階以上への避難も有効であること、③密集を避けるため、避難所だけでなく友人や親せきのお宅への避難も考えていただきたいと思います。

雨が予想されるときは、市からの情報、気象情報、県ホームページの河川 の水位等の河川情報に十分注意をしていただき、迅速に命を守る行動を取っ ていただきたいと思います。

なお、市では6月1日から携帯電話やスマートフォンを所有していない65歳以上の高齢者を対象に、災害が起きそうなときに事前に登録された固定電話へ市から出される避難情報を音声メッセージでお知らせするサービスを開始しましたので、ご希望される方は登録をお願いします。

4. 子育て支援事業の開始について

今年度、加茂市では様々な子育て支援事業を新しく始めます。既に開始したものと準備が整ってきたものをご紹介いたします。

①「かも子育て応援アプリ」の導入

これは、「母子モ」という子育てアプリを加茂市版でリリースするものです。 母子の様々な記録ができる母子健康手帳の機能、子どもの予防接種や健診の 日程などを通知する情報発信機能、またイベントの参加予約やスケジュール 管理、更にオンライン相談ができる機能など、多くの機能を備えています。

このアプリは、全国で 450 以上の自治体で導入、または導入予定で、県内でも 6 自治体が導入しています。このアプリの利用者が引っ越しや里帰りなどにより利用する地域が変わった際に、移転先の自治体が母子モを導入していれば、郵便番号を入れるだけで地域を変更して同じ機能を使うことができます。

これから子育てが始まる方、既に子育て中の方、またそのご家族など、広くご利用いただけます。利用開始は7月1日からです。窓口に手続や相談でお越しになられた方にご案内するほか、広報、ホームページ、SNS でお知らせいたしますので、多くの方からご利用いただきたいと思います。

②妊産婦メンタルヘルスオンライン健康相談

日本産婦人科学会や株式会社アイセックの調べでは、うつ症状の妊産婦は コロナ禍で従来の2倍に増え、全体の3割に達していることから、産後のメ ンタルケアの重要性が高まっているところです。

このような現状の中で、新潟大学医学部発のベンチャー企業である株式会社アイセックが、妊産婦向け「うつ症状スクリーニング」と「オンライン健康相談」を行うこととなり、加茂市はこの事業に取り組むことといたしました。この事業は、妊産婦のメンタルヘルスオンライン相談としては全国初の取り組みで、県内では加茂市のほかにも佐渡市が実施します。

今年1月から加茂市を含む県内外5団体でこの事業の実証実験を行ったところ、27人がスクリーニングを行って6割強の17人が相談の対象となり、2名がオンライン相談に繋がりました。更に実際に医療機関の受診に繋がったケースもあり、好産婦へのサポートとして効果は十分期待できます。

妊娠届出の際の面談で不安がある方と、赤ちゃん訪問等で面談する方全員から、スマートフォンで専用サイトにアクセスして、ご自身で質問項目の回

答を入力していただき、サイト上で心身の状況を判断します。そこで医師との相談が必要と判定された方はオンライン健康相談の予約に繋げます。そこでの医師との健康相談によりさらに専門の診療が必要であれば、改めて専門の医療機関への受診をお勧めします。

このサービスも、7 月から事業を開始します。育児に不安を抱える方への 一助となりますので、皆さんからスクリーニング検査を行っていただき、ご 自身の状態を確認していただければと思います。

③産後ケア事業

加茂市では、訪問や母子健康センターでの相談等により心身のケアを行っていますが、令和4年度は、妊産婦のデイサービスと宿泊を医療機関や助産所に委託する事業を始めます。専門機関で助産師や看護師等の専門スタッフに見守られる中で、子育てに疲れた、不安があるといった方が心と体の休養を取り、育児のサポートを受けることができます。対象とする期間は、国のガイドラインを参考に、メンタルヘルスケアの重要性が高いとされている出産後1年間です。

この事業は既にスタートしていますので、育児に不安がある方などから、 ぜひご利用いただければと思います。

④子育て応援パスポート

これは、中学生までの子どもがいる世帯にパスポートをお送りし、市内の 協賛店で各種割引等のサービスを受けることができるというものです。

協賛店の募集については、6月中旬に市内の商店等へ案内をお送りします。 合わせて、ホームページ、SNS、広報かもでも募集いたします。また、加茂商 工会議所からも、会報に掲載するなどのご協力をいただきます。協賛店は、 7月末で一旦取りまとめ母子モやホームページに掲載しますが、その後も協 賛店の募集と掲載は継続し、協賛店の皆さまの PR にも努めていきます。 応援パスポートは、夏休みにご利用いただけるよう 8 月には対象の世帯に お送りする予定です。

また、令和5年度からは近隣市町のお店でも利用できる予定です。詳細は 決まり次第お知らせいたします。

子育てを応援するまちとなるよう、多くの方々から協賛店に応募していただければと思います。また、多くの方々からご利用いただき、まちの活性化に繋がればと思います。

⑤ことばの教室の実施

この教室は、言葉の発達に課題がある幼児一人一人に応じた訓練を行い、 子どもが持っている能力を十分に発揮できるよう支援していくことを目的と した教室です。これまで、未就学児は加茂小学校内に設置している小学生対 象の言語通級教室に通所していました。この度、母子健康センターにおいて、 月2回、年少児から年長児までの就学前の子どもとその保護者を対象にした 教室を開催することにいたしました。

ことばの専門員が吃音や言葉が不明瞭などの課題に沿って、発音や発声の練習や遊びを通して言葉の発達を促したり、やりとりを通じてコミュニケーション能力を育てたりするなど、言葉の様子に応じてきめ細かな支援を行います。

参加をご希望の方は、お気軽にこども未来課にご相談ください。

5. まちづくりワークショップ「かも MIRAI カフェ」の開催について

加茂市総合計画の基本的な考え方である「市民を主役・中心に据えたまちづくり」を推進するため、これからの加茂をどんなまちにしたいか、それを 実現するにはどうしたらよいかを市民の皆さんと考え、話し合うための取組 を開始いたします。

「加茂のここは好き」「もっとこうだったらいいな」「これってどうなんだろう?」などといった、皆さんがこのまちに対して抱いている思いを率直に伝えあうこと、それぞれがまちに対して感じる視点を、ともにまちを歩く中で共有しあうことを通して、まちとまちづくりをより身近に感じていただけるきっかけになればと考えています。

なお、第1回目のワークショップは、昨年国の登録有形文化財に登録されました「清雲亭山重」さんの「山の蔵」を会場に行います。明治後期に建てられた、かつての造り酒屋の醸造蔵で、桁行20メートルにも及ぶ土蔵空間を体験する機会でもあります。

高校生以上で、加茂市に関わりのある方であればどなたでも参加できます ので、多くの方々のお申し込みをお待ちしています。

6. 移住促進プロジェクト「企業 PV」制作メンバー募集について

加茂市への移住を検討している人向けに、市内の企業の魅力を発信する動画を一緒に制作してくれる大学生を募集しています。制作期間は6月から9月までの3か月間で、募集人数は10人、申込期限を6月17日までとしています。制作した動画は今年度中に作成する移住定住サイトに掲載するほか、ホームページ、SNSなどで情報発信をしていきます。

まずは、参加する学生に加茂を知ってもらうため、6月25日に市内まち歩きを実施します。その後、企業への撮影・編集講座を受け、動画編集期間を経て、9月下旬に完成発表会を予定しています。

市内外から多くの大学生の応募をお待ちしています。

7. 今後のまちづくりを担う「加茂市まちづくり CSO」の公募について

加茂市では、国内最大級の人材データベースを持つ転職サイト「ビズリーチ」を通じて、最高戦略責任者、CSOを公募しています。

これから、加茂市総合計画に基づき、「市民を主役・中心に据えたまちづくり」を推進するにあたり、戦略を立案・実行するリーダーの存在が必要不可欠です。

今回の募集は、総務省の実施する地域プロジェクトマネージャー制度を活用したものです。募集は既に始まっていて、令和4年5月31日から令和4年6月27日までとなっています。

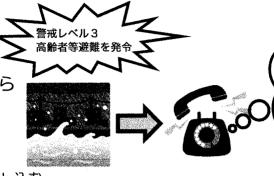
「加茂市に移り住み、市民が主役のまちづくりを一緒に進めていきたい」 「まちの新しい歴史をつくっていきたい」という気概を持った方に、ぜひ来 ていただけたらと思います。

加茂市防災・市民情報配信サービスの配信方法に固定電話への音声メッセージが追加されます

加茂市では、携帯電話やスマートフォンなどを所有していないため、市からの避難情報が届かない 高齢者等を対象に、災害が起きそうなときに事前に登録された固定電話へ市から出される避難情報を 音声メッセージでお知らせするサービスを開始します。

1. サービス開始

令和4年6月1日から



【例】 (自動音声が流れます) こちらは加茂市です。○○川が氾濫するおそれがあるため、○時○○分、 ○○地域に「警戒レベル3高齢者等 避難」を発令しました。高齢者は避 難を開始してください。 避難場所は○○小学校です。

2. サービスの流れ

- ①希望者が市に登録を申し込む。
- (※詳しくは[5. 申し込み方法]をご覧ください。)
- ②市が登録してある固定電話にメッセージを配信。
- ③登録者が受話器を取ると音声メッセージが流れる。
 - ※登録済みの電話番号から「050-3145-0117」に電話すると配信内容を聞きなおすことができます。聞きなおすことができる配信内容は、最新の配信のみになります。
 - ※本サービスで配信される情報の受信にかかる通信料はかかりませんが、配信内容を聞きなおす場合の通信料は登録者の負担となります。

3. 登録対象者

携帯電話やスマートフォンを所有していない満 65 歳以上の高齢者

※その他の方でサービスの利用を希望される場合は、加茂市総務課にお問い合わせください。

4. 配信する防災情報

避難情報	とるべき行動				
警戒レベル3:高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難				
警戒レベル4:避難指示	危険な場所から全員避難				
警戒レベル5:緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保				

5. 申し込み方法

- ①「登録申込書」に必要事項を記入して総務課へ提出(FAX・郵送可)
- ②申込受付後、約1週間で登録が完了
- ※携帯電話・スマートフォンをお持ちの方は、「加茂市防災・市民情報配信サービス」を ご利用ください。



6. 注意事項

音声メッセージは、サービス事業者の電話番号『050-3145-0117』から発信されます。

※メモ等に記入し、電話機の近くなど分かりやすい場所に貼り付けておくか、電話機に登録機能がある場合は登録するなどして「加茂市防災情報」からの電話であることが分かるようにしておいてください。

加茂市防災・市民情報配信サービス 「固定電話への防災情報配信サービス」登録申込書

					令和	年		月	<u> </u>
		登	録	者		-			
	フリカ・ナ	~	:						
, *	氏 名						年齢		
.+-=± +v	住所	加茂市							
申請者	登録する 電話番号				-	-			
	以下の事項について確認し□にチェック(√)を記入してください。								
<u> </u>	□私の世帯	まには携帯電話	舌を持っ	ってい	る者はいま・	せん	o		
	□私の世帯	ドには携帯電 詞	舌を持っ	ってい	る者がいま	すが	、日中	は不在	です。
記入者(ご本人による申請の場合は、下記記入の必要はありません。)									
氏 名					申請者との 関係				
住 所									
電話番号									

- ※本サービスは、加茂市内にお住まいの方が対象です。
- ※本サービスは、固定電話を対象にしたサービスであり、固定電話以外の電話番号を 登録することはできません。
- ※本サービスで配信される情報の受信にかかる通信料はかかりませんが、配信内容を 聞きなおす場合の通信料は登録者の負担となります。
- ※災害の状況によっては、深夜でも電話がかかりますので、ご注意ください。
- ※本サービスによる固定電話への情報伝達は、回線の切断や回線規制により正常に配信されない場合(不達・遅延等)があります。災害の発生の恐れがある場合は、テレビやラジオ等による情報の入手もお願いします。
- ※本サービスをやめる場合は、総務課防災係までご連絡ください。

問い合わせ 〒959-1392 加茂市幸町 2-3-5 加茂市役所 総務課防災係 申し込み先 電話: 0 2 5 6 - 5 2 - 0 0 8 0 FAX: 0 2 5 6 - 5 3 - 2 7 2 9 令和4年7月1日から加茂市子育てアプリがスタートします! ※事前にダウンロードすることも可能です。

かも子育て応援アプリ

by 母子モ

地域とつながる、安心の子育てアプリです

※現在使用している紙の母子健康手帳も引き続き必要です。併せてご利用ください。

成長記録モ!

大切な思い出を残せる

成長記録や楽しい思い出を 記録、家族皆で共有できま す。

街の育児情報モ!

地域とつながる安心子育で

地域の情報が届きます。 また、必要な施設を検索で きます。

予防接種モ!

複雑で面倒な予防接種スケジュールをカンタン管理!

出生日と接種状況などから最適なスケジュールをご提案します。忙しい毎日でもプッシュ通知が届き、予定日を忘れず安心です。





母子モで検索!/

母子モ

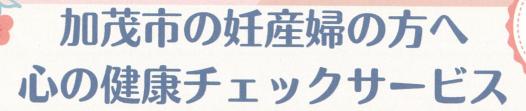
検索











令和三年度 新潟県 採択事業

ご自身のスマホから、心の健康をチェックしてみませんか??

心身に大きな負担のかかる産前・産後ですが コロナの影響で家族や身内との交流機会が減り、心理的ストレスが高まり 精神状態に不調を感じる妊産婦の方々がおよそ 2 倍に増加しています ※日本産婦人科学会調査

> 妊産婦の皆様が、質問に回答するだけで 簡単に心の健康チェックができるサービスです

所要時間約5分 24項目に答えて 心の健康状態を チェック





回答結果に 応じてメンタル ヘルス専門医が 健康をサポート

JAK!

~心の健康チェックの流れ~



フォーム回答

下記URLまたは QRコードから ログイン





通知受取

通知内容から ご自身の心の 健康状態を把握





オンライン 直線が不要な方



専門の医師が オンライン面談で サポートします 新潟大学医学部 精神医学教室



今後も休息を取りつつ 過ごしましょう

※枠内の費用は全て無料です

申认

心の健康チェックを希望される方は 下記URLかQRコードからどうぞ https://pmh02.iseq.co.jp/?st=268 期間:2022年1月11日(火)~2月28日(月)



※サイトにアクセスした際に表示される「個人情報の取扱いについて」をお読みいただき、ご回答ください。

株式会社アイセック(新潟大学医学部発ベンチャー企業)

、 これからの加茂を一緒に考えてみませんか? /

まちづくりワークショップ

「かもMIRAIカフェ」は、これからの加茂を「どんなまちにしたいか」

それを実現するためにはどうしたら良いかをみんなで考え話し合う活動です。

「加茂のここは好き」「もっとこうだったらいいな」「これってどうなんだろう?」など、どんなことでも大丈夫。

わたしたちが暮らすこのまちについて、まずは気軽に話してみませんか。



第一部 語るカフェ (全3回) 「加茂のこれまでとこれから」

- 6月25日(土) [会場] 山重貸ホール「山の蔵」 第1回 かもMIRAIカフェの活動についての説明の後、加茂に対する想い・イメージを語り合います。
- 7月23日(土) 9:30-14:30 [会場] 加茂市中央コミセン「多目的大ホール」 第2回 実際に加茂の街を歩き、まちなかの魅力や改善点を見つけます。
- 8月20日(土) [会場] 加茂市中央コミセン「多目的大ホール」 加茂の魅力や改善点をまとめ、これからの加茂に必要なことを考え、共有します。

募集定員

40名(要予約)

※当日の 飛び入り不可

申込方法

申込締切:6月15日(水)

グーグルフォームに必要事項を記入し、 お申し込みください。

※申し込み多数の場合は抽選とさせて いただきます。またその際は3回すべて に参加できる方が優先となります。



お問合せ

加茂市総務課政策推進室

TEL: 0256-52-0080(内線324) mail: ppo@city.kamo.niigata.jp



イベントの詳細はホームページをご覧ください▶ https://www.city.kamo.niigata.jp/docs/48710.html